

総合評価基準表

評価項目	中項目	小項目	確認項目	基礎点/加点
1. 業務の実施方針および実施手法				
① 実証事業の内容 および技術に関する審査	事業内容の妥当性	全体計画および予算の妥当性	公募要領に沿った偏りのない提案がなされているか	基礎点
		全体計画および予算の妥当性	事業の具体的な内容（計画立案・開発計画・効果検証などを含む）、規模、投資額が本事業の目的に照らして妥当であるか。	加点
		現場業務の把握手法の実効性	サービス開発事業者において生成AIの活用余地について検討することを目的とした、ユーザ機関の業務詳細を把握するための具体的な計画・手法が示されているか。	
		仕様調整および改善サイクルの実効性	サービス開発事業者において生成AIを用いてサービスを開発する際の、ユーザ機関との仕様すり合わせおよび提供サービスの改善を実施するための具体的な計画・手法が示されているか。	
		比較検証の客観性	サービス開発事業者で実際の行政データや業務フローを用い実証用AIと比較用AIを詳細かつ具体的に比較・評価するための具体的な計画・手法（評価指標の設定等を含む）が示されているか。	
		国産AI機能要件把握に向けた工夫の具体性	本実証事業全体の取りまとめに向けた国産AIの機能要件の把握に資する実証とするための具体的な工夫が示されているか。	
		サービス導入後の業務フロー変化の具体性	サービス開発事業者において実証AIを用いてサービスを導入した際の、ユーザ機関の具体的な業務フローが示されているか。	
	AI技術・検証要件の適合性	AI機能の検証計画の適切性・具体性	公募要領上で示されている各種検証項目について適切に検証する計画となっているか。	加点
② 事業の実現性に関する審査	実施スケジュール	スケジュールの具体性および現実性	事業の実施スケジュールが具体的かつ現実的であるか。	加点
		事業期間内の完遂確実性	事業期間内に確実に実証を完了できる計画となっているか。	加点
	事業のリスク対応・情報保全	リスク評価の網羅性	様々な視点からリスク（スケジュール遅延、技術的障害等）を評価しているか。	加点
		事業中止基準および対応方針の明確性	事業を中止する場合の基準や対応方針を明確にしているか。	基礎点
		情報保全の履行体制の実効性	情報保全の履行体制が具体的に示されているか。	基礎点
2. 組織の実績・経験等				
③ 業務実施体制に関する審査	事業の実施体制	実施体制（履行・適格性等）の妥当性	実施計画、情報保全の履行体制、業務従事者の適格性の確保等の実施体制が具体的に示されているか。	基礎点
		関係機関との連携および役割分担の明確性	事業実施に向けて関係機関等との必要な体制が構築され、適切な役割分担がなされているか。	基礎点
		必要要員の確保状況	事業実施に向けて必要な要員が確保されているか。	基礎点
	財務の健全性	資金力の十分性	本事業を円滑に遂行するための資金力を有しているか。	基礎点
		経営基盤の安定性	本事業を円滑に遂行するための経営基盤を有しているか。	基礎点
	事業遂行に必要な実績・ノウハウ	組織の関連業務実績	AI活用をはじめとするシステム活用、自治体業務改善その他本事業に関係する取組の実績等を有しているか。	加点
		主要メンバー（PM・有識者等）の能力	実証グループのシステム環境に精通し、実証を効果的・効率的に遂行する能力、実績を有するプロジェクトマネージャー、有識者等が参画しているか。	加点